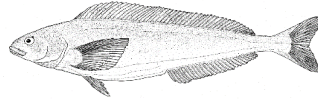


# 9. ホツケ

## 主な漁業と漁期

まき網：3～6月  
刺し網、定置網、底建網：  
4～7月、9～12月



## 道南日本海～ 道南太平洋海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

せたな町茂津多岬付近から本州北部日本海、噴火湾から本州北部太平洋に分布しています。標識放流結果から、この海域の中での相互移動が確認されており、一部は北上し積丹半島西岸に移動することもあります。

#### ◆産卵期・産卵場

◎産卵期は10～12月です。

◎産卵場は茂津多岬周辺から松前周辺、恵山周辺から鹿部周辺にかけての本道及び奥尻島の沿岸岩礁域に形成されます。メスは岩礁の窪みに卵を数回に分けて産みつけて、ふ化までオスが保護します。

#### ◆成長・成熟

(1月時点)

	体長(mm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
1歳	244	248	224	216
2歳	283	294	375	412
3歳	310	329	519	602
4歳	329	354	644	764

\* ) 2007～2018年の漁獲物測定資料より

\* ) 加齢の基準日：1月1日

◎成熟年齢・体長

1歳から成熟する個体が一部みられますが、ほとんどは2歳で成熟します。

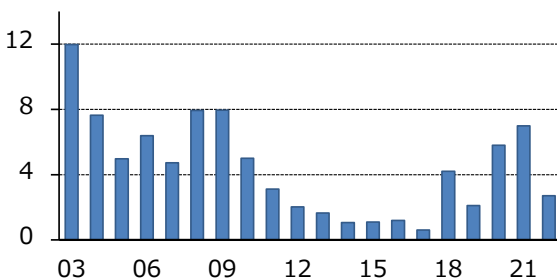
### 資源評価

[評価年] 1月～12月

[資源量の指標] 1歳以上の資源重量

2022年度の漁獲量は前年から大きく減少し約2.7千トンとなり、資源水準は低水準となりました。また、仔稚魚調査の結果から、2022、2023年級群の豊度は高くないと見込まれ、さらに近年漁獲の主体となっていた2019年級が高齢となり減少すると考えられることから、翌年にかけての動向は減少と判断されました。

漁獲量 (千トン)



2022年度  
の水準



低水準

2023年度  
の動向



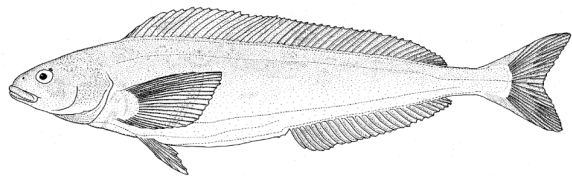
減少

※道総研が受託している国の資源評価調査のデータも利用して評価しています。

### 資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

許可等の条件、漁業権行使規則等で操業期間、漁具の制限等を定めています。



☆現在、道南海域での再生産は少ないとみられ、隣接海域からの移入の多寡の影響が大きくなっており、隣接海域と連携した資源回復への取組みが重要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 函館水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0138-83-2893